［市民が主役］の政治フォーラム

よこみち孝弘 ネットワーク通信

No.18 初秋号 2002年9月8日

発行／横路孝弘連合後援会：TEL (011) 561-4582 FAX (011) 551-4545
〒060-0063 札幌市中央区南3条西12丁目 北海道教育会館3F
●この通信は通常、全戸配布をしています。 ●郵便振替 02710－3－2749

世界に平和を！国民に安心を！

私の決意「民主党代表選挙立候補に当たって」

私はこの度、民主党代表選挙に立候補する決意をいたしました。立候補を決意したのは、現在の世界や日本、そして民主党の現状についての強い危機感からです。

平和を育む国

現在は息を呑むような時代で、何が起きても不思議でない状態です。「先制攻撃で、ならずもの国家を打倒すべき」「核の使用をためらってはいけない」などと、イラクをはじめ世界に戦争を広げて行こうとしているブッシュ政権。支えているのはアメリカの軍需産業と石油業界だ。

それを支持する小泉政権。これをチェックできない民主党。民主党の党内からは憲法改正を直ちに実現しようとか、憲法9条を改正して集団的自衛権の行使を認めていこうといった声が聞こえてくる。アメリカの行くところ、地の果てまで付き合うのか。イラクでアメリカと共に戦うのか。

新しい有事立法体制。新しい有事立法国家体制のもとで平時が戦時の如く、軍事化が行政・経済社会の中に広がってゆく日本社会。これに手を貸す民主党にするのか、それで良いのか。もちろんNOである！

今こそ沖縄戦を思いおこし、東京をはじめ日本各地の大空襲を思いうかべ、広島、長崎を忘れてはならない。そして中国などアジア諸国を侵略し、朝鮮を植民地にした歴史を忘れてはならない。日本人やアジアの人々など戦争で亡くなった人々を忘れてはならない。

立候補決意表明する横路さん（8月6日）

安心と希望の持てる社会

小泉構造改革は「競争と効率の日本でなければならない。痛みを皆で分かち合おう。ハイリスク、ハイリターン。自己責任社会をつくろう。強いものをより強くするのが社会の活力を生むのだ。正義とか、公平とか平等とか言っているからだめなのだ」と主張する。

サプライサイド（供給生産サイド）を強化し、アメリカ的市場主義を原理とする競争社会へ日本は一直線。それが小泉政権だ。この改革を支持してしまった民主党。女性や高齢者の支持を得られるはずもない。

1990年代のバブルはその後のリストラを通して、犯罪、自殺、ホームレス、倒産・失業など大きな痛みを国民の中に生み出した。

その結果、国民は日本の政治、社会、経済への信頼感も安心感も喪失してしまっている。

モラルを取り戻し、汗水流せば必ず報われる社会にしなければならない。経済はフェアで自由で透明な市場、社会は公正・公平な社会でなければならない。協力し合う社会こそ日本の社会だ。生まれてから人生を終えるまでのライフサイクルに応じた安心の基盤を築くのが政治の役割であり、民主党がやらなければならないことだ。

生活者や働く者の痛みのわかる政党に民主党を変えなければならない。

民主党の原点を大切に

民主党を保守系政党に！という声が党内にあると言う。保守系ならば自由民主党、自由党、保守党とあるのではないか。今必要なことは、民主党結党の原点に戻ることだ。平和憲法を基本として、市民が主役の政治、男女共同参画社会の実現。汗水流す真面目な人々が安心して心豊かに暮らせる社会をつくるために生まれた政党が、民主党である。

第2自民党はいらない。第2保守党もいまさらつくる必要はない。自由民主党としっかり対決し、国民に自民党とは異なったもう一つの選択肢を提起するのが野党第1党の役割だ。

民主党を第2の自民党にしてはならない。市民が主役の民主党に変えなければならないのだ。

自民党との対抗軸を明らかに

民主党が結党されて4年、自民党の相次ぐ失策にもかかわらず、民主党に政権を担って欲しいという声は、残念ながら国民の間に高まってこな

（次ページにつづく）

横断幕での応援も（8月6日ススキノ街頭演説会）

●横路孝弘 民主党代表選挙ホームページ http://www.yokomichi.com/2002/
●よこみちテレフォン いつでも横路さんのメッセージを聞くことができます 011-551-4532
ゴーゴーイコー ヨコ サンニ

い。

その理由は、自民党と民主党の違いがはっきりしないことにある。民主党が政権をとっても自民党とたいして違いがないと思えば、国民はリスクを犯して政権交代をしようとはしない。また、民主党は危うくてどこに向かって走っていくのかわからないと不安感を持っている国民も多い。

従って政権をとるために必要なのは、自民党との対抗軸を鮮明にして、政権が代われば日本が変わることを明らかにすること。そしてこの対抗軸はぶれることのないことをはっきり示さなければならない。

民主党の原点は「市民が主役」の政治の実現だった。国のかたちを「地方へ」「市民へ」「市場へ」と変えることだった。

それがいつの間にかぼやけてしまった。私たちは出発点に戻り、自民党政治と対決をしていかなければならない。

自民党の政治は、特定の集団に利益を分配し、既得権を守る政治。許認可権と補助金を使って、様々な業界、各種団体をコントロールし、それらの団体を代表する人々が族議員として活動してきた。GDPの8%も公共事業に投入し、大きな政府を形づくってきた。

現在、国民は職を失う不安、健康への不安、生活の不安、老後の不安、将来への不安などたくさんの不安に囲まれ、元気を失っている。

それに対し、小泉内閣が掲げている政策は国民の不安をさらに拡大しており、国民の80%の人は不安を感じている。不安をすぐに取り除くことは不可能としても、こうすれば不安を無くすことが出来るという政策を打ち出すことができれば、国民はそれに立ち向かうことができる。

自民党に対抗しうる民主党へ

――私の基本的な考え方――

①「市民が主役」の政府の実現

国の役割を限定し、地域へ権限と自主的に使える財源を移し、市民が身近なところで政治に参加し、選択し、決定できるように、地域主権を基本とする制度にしなければなりません。

住民投票制度やNPO、NGOへの支援税制など直接民主主義の拡大をはかります。道州制による連邦型国家を目指します。

②男女共同参画社会の実現

選択的夫婦別姓制度の導入、福祉や税制は世帯から個人単位へ。同一価値労働同一賃金、差別なき社会保険の適用、多様な保育サービスの充実、母子家庭の児童扶養手当の充実。ジェンダーフリーの教育をすすめます。

ススキノ街頭演説会（8月6日）

③安心と希望のもてる社会保障制度の充実

人々は多くの不安をもっています。その不安を解消し、人々が安心して生活のできる基盤をつくることは、政治の最大の仕事です。

そのためには、年金、医療、介護制度などの福祉の充実をはかります。

④環境循環型社会の構築と情報社会へ

地球規模で環境負荷は増大し、地球温暖化が進んでいます。微妙なバランスの上に成り立つ複雑な生態系を守り、成長の拡大のみを追求してきた経済政策を見直し、我が国の社会経済政策を環境保全型に変えていきます。

そのために環境税の導入、緑のダム、将来の脱原発を目指した自然エネルギーを推進していきます。

また情報によって大量生産・大量消費社会を変え、働き方や生活の仕方を変えることができます。

⑤産業経済の活性化と雇用の確保

環境との調和、リサイクル、新しい自然エネルギー、生活の質、安心のできる福祉の基盤、医療や介護、情報社会の進展を踏まえた新しい経済社会への構造と、それへの転換が求められており、新しいサービス産業、新しい製造業の下で雇用も開発されます。

中小企業への情報提供、技術開発の支援が必要です。

パート・派遣労働の同一価値労働同一賃金の原則を確保し、失業給付の充実（世帯主に対して）をはかります。

⑥財政改革

今までのムダな公共事業の拡大による経済浮揚政策は破綻しました。これから環境、福祉、情報関連といった、今後必ずやらなければならない社会的共通資本の整備を進め、自治体をしばる補助金を見直し、徹底した地方分権をすすめます。

⑦税制改革

国民の皆さまからの血税の使い道を決めることが政治の役割です。公平で透明で簡素な税制改革を行い、サラリーマンの申告納税制度の導入、総合課税、税への不公平感の解消をめざします。

⑧地球の平和を育む国へ自主自立の外交

対米一辺倒を改め、アジア外交や国連を中心とした積極的な平和外交を展開し、人道支援を中心とした国際貢献の推進をめざします。有事、緊急事態への対応は、既存の有事、緊急事態法律である自衛隊法、警察法、消防法、海上保安庁法、災害対策基本法、原子力災害対策基本法で対応し、不備な点があれば充実させます。

自衛隊は国土防衛の組織として海外へは派兵せず、PKOなどの協力は別組織とします。集団的自衛権は認めません。

⑨世界に開かれた教育と文化と差別のない社会

教育基本法の理念を大切にし、平和、人権、環境、民主主義、ジェンダーフリーの視点を踏まえた政策をすすめます。また、人権重視の教育、生涯学習機会の実現、市民参加の地方分権による教育システムを確立します。

⑩憲法

我が国は憲法により、二度と侵略のための武器を取らないこと、人権を尊重すること、国民が主権者であることを世界に向けて宣言しました。この精神は21世紀の国際社会においても誇るべき理念であり、今後更に具体化していく努力が必要です。

⑪民主党のあり方

①民主党は、地域と国に責任を持つ政党。

そのために地域の党組織（特に都道府県支部）を強化し、地方議員を増やし、国会議員個人の集団でしかない現状を変えます。

②幅広い結集と統合を実現するため、党議拘束は総理大臣の指名予算案などに絞り、他は自由とします。

③地方議員や地方組織の声を、政策や党運営に反映させます。

④様々なNPO・NGOと民主党をつなぐ市民政策調査会を地方にも立ち上げていきます。

立会演説会・札幌では9月19日

9月9日の告示日から23日の投票日まで、全国各地で街頭及び屋内での立会演説会を開催する予定で、札幌では次のとおりです。

とき　9月19日（木）午後6時より

ところ　札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目）

皆さんお誘い合せの上、横路さんに力強いご声援をお願いします！

日程は変更する場合があります。他の都府県での演説会情報などは横路選挙事務所（TEL03-3519-6405）まで。

（ホームページhttp://www.yokomichi.com/2002/でもお知らせしています）

札幌・東京で政経セミナーを初開催

横路さんが議員になってから初めての政経セミナーを7月6日に札幌で、17日に東京で開催しました。

およそ500人が集まった札幌でのセミナーでは、北海道出身で(株)三井物産戦略研究所長の寺島実郎さんが「時代潮流と日本の進路」と題して講演。

国際経験豊かな寺島さんは、アメリカ主導による経済のグローバル化に警鐘を鳴らすとともに、「日本はアメリカとヨーロッパ、そしてアジア諸国とバランスよく外交展開し経済活動を行うべき」と持論を展開。また北海道経済については、農業など第一次産業に基盤を置いた産業の振興を図るべきと講演されました。

東京でのセミナーでは「今、民主党に求められているもの」をテーマに、『インサイダー』編集長の高野孟さん、慶応大学教授の金子勝さん、人材育成技術研究所の辛淑玉さんと横路さんによるパネルディスカッションが行なわれ、およそ450名が出席しました。

セミナーでは日本の政治や経済が直面する課題とその打開策などが議論されるとともに、民主党の現状を危惧するパネラーからは、「横路さんには民主党再生に向けて何としても頑張ってほしい」という激励が飛びました。

セミナー後の懇親会には後援会員や国会議員、労組や財界の関係者など約800名が参加し、横路夫妻とともに交流や懇談の楽しいひとときを過ごしました。

寺島さん

写真左から高野さん、辛さん、金子さん、横路さん

今回のセミナーでは多くの皆様からご支援、ご出席を頂きました。心から厚く御礼を申し上げます。

新会長に兼古 哲郎さん

横路孝弘連合後援会の総会と国政報告会が6月8日に北海道教育会館で行なわれました。

総会では活動報告と今後の後援会行事、来春の統一自治体選挙への取り組みなどが議論されました。

また、今年1月に亡くなられた故高田治郎前会長の後任として、後援会副会長の兼古哲郎さんが会長に選任されました。

新会長の兼古さん

兼古会長は「高田前会長の遺志を受け継ぎ、横路さんの更なる活躍と後援会の発展に向けて全力を尽くす」と挨拶。

その後の国政報告会で横路さんは、世界に戦争を拡大しかねない米ブッシュ政権の危険性とそれを黙認し追随する小泉内閣を厳しく批判するとともに、「弱きをくじき、強きを助ける」小泉改革で日本の経済や社会はさらに悪化していると指摘。

「小泉自民党との対抗軸をはっきり示し、与党をチェックし対決するのが野党第1党である民主党の役割だが、今の民主党はそうではない。結党の原点に立ち戻り、市民が主役の民主党となるようこれからも全力で頑張る」と力強く訴えました。

OB有志による「横路応援団」結成

横路さんの政治活動を応援し激励することを目的として、労働団体などのOB有志が呼びかけ人となり、6月30日に「横路さんを応援する会」(略称「横路応援団」)の結成総会が開かれました。

総会で会長に選任された田村武さん(全林野OB)は「小泉内閣や有事法制問題など、日本の政治は非常に緊迫した情勢だ。今こそ横路さんに小泉自民党に対抗する野党勢力の中心として活躍してほしい。そのために我々OBは全力で活動していく」と力強く挨拶。

総会には労組などのOB・OG約150名が集まり、会場内は横路さんを応援する皆さんの熱気でいっぱいでした。

会長の田村さん

連載エッセイ……⑫

シベリアから聞こえてくるもの

横路　由美子

ちいさきを子どもと思う　軒つらら

これは第2次世界大戦中、中国で満鉄につとめ、後に旧ソビエトに抑留され収容所で病死した山本幡男さんという人が、残してきた4人の子どもを思って作った句である。

山本さんは学生時代にロシア語を専攻し堪能だったため、スターリン時代になるとスパイ容疑がかけられ収容所の労働も苛酷を極めた。1949年までに大多数のシベリア抑留兵士はナホトカから日本の舞鶴港へ帰還したが、山本さんには声がかからなかった。そのうち、重い喉頭と肺のガンに罹る。

死の直前、山本さんは4500字に及ぶ遺書を書く。それまで厳しい監視の中でも、山本さんに励まされて俳句や短歌、文集等を作ってきた仲間達が、山本さんの遺書を1、2ページずつ丸暗記して帰国、日本にいる山本さんの遺族に伝えた。

この一連のことについては、10年以上も前に出版された「ラーゲリーから来た遺書」(辺見じゅん著)で読んではいたが、過日、「知ってるつもり」というテレビ番組で見て、あらためて涙が出た。すでに山本夫人も5、6年前に亡くなられたそうだが、映像には10年前、80歳を過ぎて、いまやスパイ容疑も消えシベリアの地に眠る夫の墓を訪ねる夫人の姿があった。雪を払い墓石をいとおしそうになでる老婦人。ラーゲリー(収容所)の板屋根から下がる氷柱に4人の子供たちと妻を思い、ふるさとを夢見つつ死んでいった山本幡男さん…。戦争は何と悲しいものであろうか。

私は、1992年の夏だったと思うが、当時、北海道知事だった夫を団長とする北方地域友好交流の旅で5日間、ハバロフスク、イルクーツクを訪れたことがある。ハバロフスクやイルクーツク郊外の日本人墓地は整備はされていたが、墓地を囲む白樺の木々の間を寂しげに風が渡っていた。墓石の周りの草をかきわけ、墓石をなでて望郷の心、無念の心いっぱいに死んでいった人たちのために祈った。

旧満州、樺太などから戦中戦後、ソ連軍によって極寒の地シベリアに連行された人々は60万人以上、帰還できずに死んでいった人々は7万人以上になるという。

シベリアから聞こえてくるもの、それは、二度とこんな思いで異国の地で死ぬ人がないように、という死者たちの声でなかろうか。白樺を渡る風にそんな声が聞こえた。

横路孝弘主な活動記録
（5月20日～8月31日）

［道　外］

［5月］
20日 有事法制反対集会―講演
21日 全国信用情報センター連合会からレクチャー
22日 内閣常任委員会、東京新聞取材
アジアの平和・日中懇談会
23日 元日教組委員長横山英一氏偲ぶ会
有事法制反対
28日 平和フォーラム集会
沖縄北方領土問題特別委員会―質問
29日 NTT労組激励集会
内閣常任委員会
30日 NHK札幌放送局長と懇談

［6月］
3日 全駐労議員懇談会
4日 沖縄北方領土問題特別委員会
5日 平和フォーラム朝食勉強会―講演
バート議連勉強会
6日 五十嵐敬喜法政大学教授と懇談
11日 市民政策議員懇談会
12日 根室市議から北方領土問題の要請
北海道・東北議員団会議
13日 平和フォーラム有事法制反対集会
森林労連から要請、産経新聞取材
14日 2002年民主党躍進パーティ
17日 東京都選出自治体議員と懇談
20日 道内報道各社インタビュー
全たばこ労働組合定期全国大会
バート議連勉強会
24日 情報通信議員懇談会
26日 内閣常任委員会
法政大学五十嵐敬喜ゼミ―講演
27日 日政連議員団朝食会
28日 日教組役員と懇談
内閣常任委員会

［7月］
1日 全逓三役と懇談
3日 NTT労組定期全国大会
4日 私鉄総連役員と懇談
8日 北海道人会
9日 情報労連定期全国大会
10日 市民政策議員懇談会
11日 沖縄北方領土問題特別委員会
12日 市民政策議員懇談会
16日 市民政策議員懇談会
17日 横路孝弘政経セミナー・懇親会
18日 連合北海道議員団朝食会・懇談
札幌市長と昼食会
21日 全駐労役員と懇談
22日 米軍岩国基地視察

沖縄北方特別委質問

23日 上砂川市商工会議所より陳情
24日 党日中21世紀の会勉強会
25日 NTT労組激励集会
党北海道議員団会議
29日 情報通信議員懇朝食会
障害者国際会議推進議連総会
党街頭演説会
30日 共同通信社インタビュー
31日 内閣常任委員会
沖縄北方領土問題特別委員会

［8月］
1日 東京都選出区議会議員と懇談
佐々木北海道副知事と懇談
2日 米国下院議員バーバラ・リーさんと懇談、雑誌「経済界」取材
8日 全たばこ労組地本代表者会議
16日 TBS報道特集インタビュー
18日 テレビ朝日サンデープロジェクト出演
19日 党代表選挙横路孝弘事務所開き
20日 東京都内遊説（特別養護老人ホーム、商店街等）
21日 新聞各社取材インタビュー
全林野地本代表者会議
22日 報道各社インタビュー
23日 生保労連第34回定期大会
25日 フジテレビ報道2001出演
26日 熊本市内遊説・記者会見
28日 都市圏遊説
29日 都市圏遊説
30日 横浜市内遊説（街頭演説・集会）
31日 高知県内遊説（街頭演説・集会）

［道　内］

◎第154回通常国会が7月31日まで開催され、原則として火、木、金曜の午後1時より本会議を開催。また毎週火曜の8時より党の内閣部門会議が開催され（内閣常任委員会委員のため）出席しています。

［5月］
24日 北海道商工連盟総会・懇親会
党西区有事法制集会―講演
25日 党南区有事法制集会―講演
27日 道平和運動フォーラム勉強会講演
北海道生保労連勉強会・懇親会

［6月］
1日 党中央区有事法制集会―講演
8日 横路孝弘連合後援会総会・国政報告会
9日 ていねさくら館開所式、西区連合ファミリーメーデー、北区民主党有事法制集会―講演

ていねさくら館開所式

15日 北海道退職者連合
有事法制勉強会―講演
横路応援団結成総会
［7月］
5日 連合中央区平和学習会―講演
6日 横路孝弘政経セミナー
12日 情報労連北海道文化祭
段坂繁美道議歩む会総会・懇親会
13日 HBCラジオ出演
食品連合地方労働セミナー―講演
14日 Y・G会ゴルフコンペ
15日 北教組日高支部有事法制勉強会―講演
27日 北海道21ビジョントーク in 中標津―講演、YSAあばしり交流会
28日 全林野北海道友好祭―講演
［8月］
2日 北海道税理士政治連盟第1地区会懇親会
3日 札幌市議大西としお納涼パーティ
5日 北政連議員団勉強会―講演
6日 雑誌「北海道自治研究」鼎談
運輸労連道地連大会、党代表選挙立候補
17日 表明記者会見
街頭演説
北教組学習会―講演

党代表選挙出馬表明街頭演説

恒例
横路さんを囲む秋の集い

ビールとしゃぶしゃぶパーティー

～食べて歌って楽しもう！～

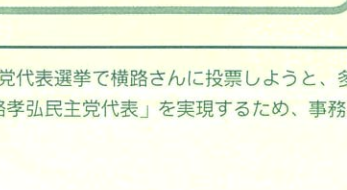
とき
2002年10月5日（土）
お昼12時から

ところ
アサヒビール園　はまなす館
（札幌市白石区南郷通4丁目南1-1　TEL 011-863-5251）
地下鉄東西線 南郷7丁目駅2番出口、白石駅6番出口より徒歩5分

会　費　大人　￥3,500（中学生以上）
子供　￥1,500（小学生）※入学前は無料

◎ お楽しみ抽選会もあります。ご家族、職場、お友達などグループで一緒に座れます。

参加申込み
10月3日（木）までに事務局へ電話かFAXでお申込み下さい。
電話
011-233-2331
FAX
011-233-2337



雨にも負けずナイスショット！
第6回YG会ゴルフコンペ

スタート前の横路さん（写真左）ら

YG会（横路さんとゴルフをする会）ゴルフコンペが7月14日、札幌廣済堂カントリー倶楽部で行われました。

開会式では衆議院議員の赤松広隆さんが挨拶され、コンペには衆議院議員の生方幸夫さん、三井わきおさん、参議院議員の峰崎直樹さん、小川勝也さんが参加されました。

あいにくの雨の中でのコンペでしたが、会話を楽しんだりショットに一喜一憂しながら、横路さんと参加者154名による楽しい一日となりました。

コンペの結果、旧コースでは山田清司さん、新コースでは佐藤博司さんが優勝しました。

今回はコンサドーレ札幌の札幌ドーム観戦ペアチケット、人気No.1のキャディバッグやバター、釣具セットにお米セットなど豪華賞品が盛り沢山で、横路さんから賞品を受け取った参加者は大満足。

来年も開催する予定ですので、参加ご希望の方は横路事務所にご連絡下さい。

旧コース優勝　山田　清司さん

新コース優勝　佐藤　博司さん

事務局だより

民主党代表選挙で横路さんに投票しようと、多くの皆様に民主党サポーター登録をして頂きました。本当にありがとうございます。
「横路孝弘民主党代表」を実現するため、事務局一同、全力で頑張ります。これからもご支援・ご協力をお願いいたします。